

○ 草の根パートナー型

パートナー型フォローアップ案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル
2. 事業名	ボルガン県ボルガン市における「母と子のための」地域ぐるみ健康まちづくりプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	2008年1月から2010年12月にかけてボルガン県ボルガン市第3バグ（地区）において行った先行事業の実績をもとに、本事業では対象をボルガン県ボルガン市市民に拡大する。モンゴル国保健省で作成された母子健康手帳の普及の強化、母子保健の活動の定着、健康な出産と育児が実現されることにより、モンゴル国の保健指標の向上につなげることを期待する。また、母子保健活動における指導者の育成、「地域ぐるみの健康まちづくり活動」のためにVHW（ボランティアヘルスワーカー）の活動の強化を期待する。
4. プロジェクト目標	母子健康手帳の普及により母子保健指導が充実し、健康な妊娠の継続、分娩、育児への取り組みが実現する。
5. 対象地域	ボルガン県ボルガン市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	直接受益者：ボルガン県ボルガン市の保健医療従事者110人、VHW150人、妊産婦、新生児 間接受益者：ボルガン県ボルガン市の妊産婦を中心とした住民16,500人
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政がボルガン市の妊娠・分娩・小児の発達について把握する。 2. 母子保健に関係する専門家による母子健康手帳を活用した母子保健活動が展開される。 3. 地域ボランティアヘルスワーカー（VHW）組織を強化し、母と子の健康に対する身近な支援者として活動ができるよう育成する。 4. 行政、医療従事者、ボランティアヘルスワーカー、地域住民が一体となった母子保健活動を通して、PHCの理念を住民に普及させる。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1 妊娠、分娩、小児の発達について、把握の方法および結果について調査する。 1-2 妊娠、分娩、小児の発達について分析し問題を明確にする。 1-3 結果をボルガン県、ボルガン市、保健局、県立病院、家族病院で共有する。 1-4 今後の対策について、行政とともに協議する。 2-1 母子健康手帳の配布システムと配布数、活用の実態を調査する。 2-2 ボルガン市の全妊婦に母子健康手帳を配布する。 2-3 母子保健に携わる保健医療専門家を対象として、日本の関連機関にて研修を実施する。 2-4 本邦研修を参考として、母子保健活動を計画し、実施する。 2-5 母子保健活動を実践する専門家（助産師、産科医、小児科医）を育成する。 2-6 母子保健活動を実施するための教材の開発 2-7 母子健康手帳の目的と意義を周知するための講習会を実施する。 2-8 母子保健活動担当者WGの設立と指導 3-1 各バグのVHWの活動の実態を調査する。 3-2 VHWリーダー長会議の設立と運営の指導 3-3 VHWを対象としたPHCの理念およびVHW活動の意義についての講習会を行う。 3-4 第3、5バグVHWバグの評価 3-5 各バグのVHWの集会所の整備 3-6 VHW手帳活用の実態調査および評価 4-1 住民の健康に関する意識調査を実施し、実態を把握する。 4-2 ボルガン市における保健サービスの実態を調査する。 4-3 調査結果を行政機関にフィードバックする。 4-4 住民に対するPHCおよび母子保健についての啓発のための定期講演会を企画・実施・評価する。 4-5 母子保健活動の広報を行う（HP、新聞、チラシ等を活用する）
8. 実施期間	2011年1月から2012年12月（2年）
9. 事業費概算額	29,795千円
10. 事業の実施体制	財団代表、ボルガン県知事、保健局、ボルガン県総合病院、各バグ地域住民代表による運営委員会と担当実務者によるワーキンググループを設け、プロジェクトの適正運営及び定期的なモニタリングを行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	公益財団法人国際看護交流協会
2. 活動内容	開発途上国に対する保健医療・看護の技術協力、人材育成